

平成28年度

**全国学力・学習状況調査の  
結果について**



**海老名市立有馬中学校**

## 目次

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「数学に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「生徒質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 4
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 5



## 資料 学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。  
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

### 【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

### 【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

### 【基本的な生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

### 【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

### 【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

### 【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家からは、授業参観や運動会などの学校行事に来る

### 【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

### 【基本的な生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

# 全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが平成25年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました

## ◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## ◆ 調査の対象

- 国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒
- ・ 小学校第6学年
  - ・ 中学校第3学年

## ◆ 調査内容

- (1) 教科に関する調査

### 【小学校】

- 国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)

### 【中学校】

- 国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

- (2) 児童生徒に対する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

- (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

## ◆ 調査実施日

平成28年4月19日(火)



## 国語に関する調査結果

### 国語 A

(主として「知識」に関する問題)

#### 《優れている所》

- 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解することができます。
- 「白羽の矢が(立つ)」、「仕事の合間を(縫う)」、「届ける」を敬語では「お届けします」などの、伝統的な言葉の使い方を理解しています。

#### 《努力を要する所》

- 選択問題ではなく、文章を書いて答えることに課題が見られます。特に「パンフレット作成」の問題で、見る人に伝わるよう効果的に見出しや文章をつくることに課題があります。

### 国語 B

(主として「活用」に関する問題)

#### 《優れている所》

- 選択問題は、おおむねできています。
- 文章を読んで疑問に思うことを、興味・関心を持って文章表現をすることができます。

#### 《努力を要する所》

- 文章を書いて答える問題に課題があります。
- 伝えるべき内容を盛り込み、自分の意見を上手にまとめて文章表現をすることに課題があります。

### これまでの取組から

- 文章から登場人物の心情を読み取り、内容をとらえて解答する問題で、正答率が高くなっています。
- 質問紙で「自分の考えを理由が分かるように書いている」で「当てはまる」と回答した割合(%)が、26年度→28年度で12.0→19.8→27.7と増加しています。授業で「グループワーク」を行うことにより、自分の意見をまとめて発表することに意欲的に取り組んでいます。

### 今後の具体的な取組について

- 漢字小テストを定期的に行い、反復することで漢字の定着をめざします。
- 「グループワーク」を授業に取り入れ、思考力、判断力、表現力を高めます。
- 辞書を多く活用し、語彙力を高めます。



## 数学に関する調査結果

### 数 学 A

(主として「知識」に関する問題)

#### 《優れている所》

- 読書冊数を表すグラフを見て、最頻値を求めることがよくできています。
- 表示された郵便物の重さから、誤差を表す数式を求める問題がよくできています。
- コインを投げて、表と裏が出る確率の問題がよくできています。

#### 《努力を要する所》

- 「関数」と「図形」の理解については、課題があります。
- 水槽から一定量の水を抜いたときの水量を、一次関数に表すことにかなり課題があります。
- 多角形の外角の和を理解し、答えを求めることにかなり課題があります。

### 数 学 B

(主として「活用」に関する問題)

#### 《優れている所》

- 電気自動車とガソリン車の価格と燃料代について、年数で表したグラフの意味をよく理解しています。
- 反比例のグラフを一次関数に表すとき、その答えを説明することがよくできています。

#### 《努力を要する所》

- 解答への考え方を文章で説明する問題に課題があります。
- 上記の電気自動車とガソリン車の問題でグラフの意味は理解していますが、式を文章で説明することに課題があります。
- 三角形の合同条件を使って、辺の長さを証明することにかなり課題があります。

### これまでの取組から

- 数学Aでは、資料やグラフからその意味を読み取り、答えを導き出すことにかなり課題が見られましたが、今年度は全国平均を上回っています。

### 今後の具体的な取組について

- 1年次で実施している「少人数制授業」を継続して展開し、基礎的な知識・理解の向上を図っていきます。
- 手作り教材や小テストを実施し、学習意欲につながる「わかる」「できる」授業実践を行います。
- 補習や再テストを行い、学力の定着をめざします。



# 生徒質問紙の結果より

## 学習について

### 《よかった所》

- 「授業で分からないことがあった場合どうするか」に、「授業が終わってから先生に尋ねに行く」と回答した生徒が、全国平均をかなり上回っています。

### 《課題と思われる所》

- 「1日あたりの家庭学習の時間」では、「30分以内」と「全くしない」と回答した生徒が、全国平均を上回っています。

## 生活について

### 《よかった所》

- 「人の役に立つ人間になりたいですか」「自分にはよいところがあると思いますか」の問いに、「当てはまる」と回答した生徒が全国平均よりもかなり上回っています。

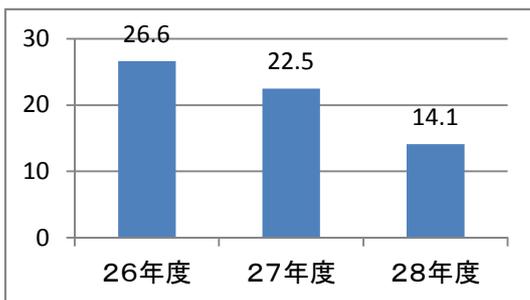
### 《課題と思われる所》

- 「携帯電話・スマホ・インターネット」を1日に使う時間が、「4時間以上」「3時間以上」と回答した生徒が全国平均よりかなり上回っています。

## これまでの取組から

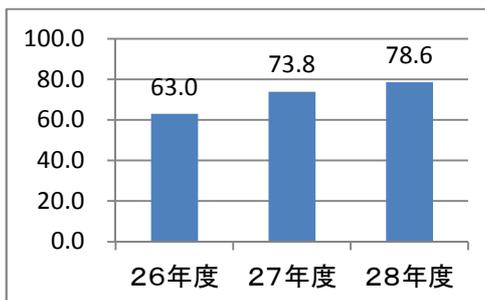
「1日にテレビ、DVDをどのくらい見ますか」で「4時間以上」の割合

「4時間以上」の割合(%)はまだ多いですが、毎年減少しています。



「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」で「当てはまる」の割合(%)

「どちらかという当てはまる」を入れると、96.1%の生徒がいけないと思っています。



## 今後の具体的な取組について

- 家庭学習に意欲的に取り組めるよう、小・中学校9年間で学習方法や必要性を指導していきます。
- いじめのない学校をめざして、いじめ防止の取組や道徳を充実させます。



# ご家庭で取り組んでいただきたいこと

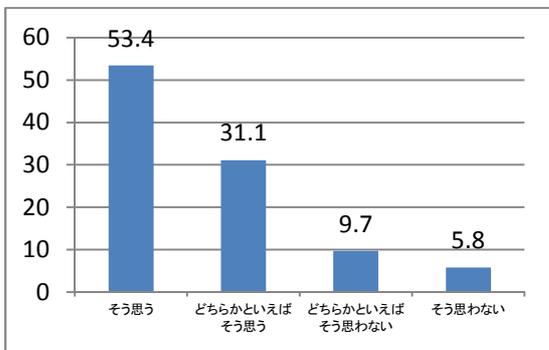
平成28年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。

毎年、全国平均よりもかなり高い有馬中学校のよさです。さらなる向上をめざして取り組んでいきたい項目です。

## 1 安全、安心で楽しい学校づくり。

学校と家庭が連携し、心もからだも安心で、友人と楽しく活動ができる学校づくりに取り組みます。

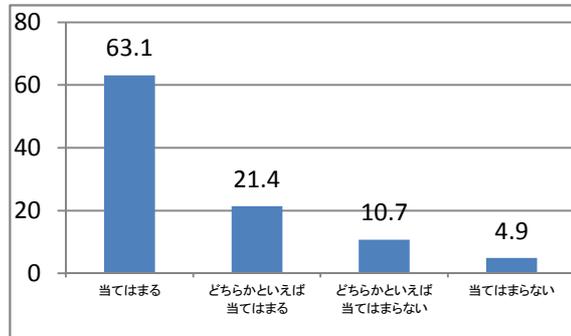
学校に行くのは楽しいと思えますか。



## 2 協力して、やり遂げる力の育成。

意欲的に参加し、仲間と協力してやり遂げる楽しさを体験できる活動づくりに取り組みます。

学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。

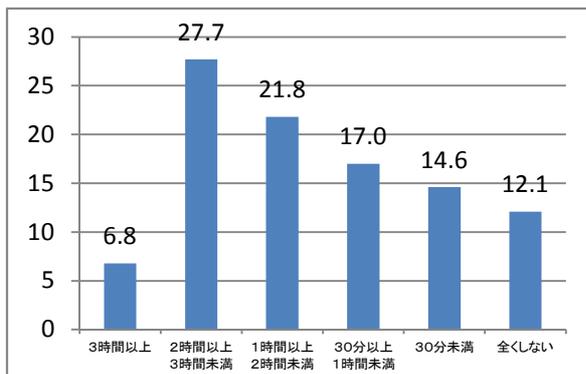


毎年、全国平均よりもかなり低い有馬中学校の課題です。今後、改善をめざして取り組んでいきたい項目です。

## 3 家庭学習にしっかり取り組みましょう。

日頃から学習する習慣をつけましょう。

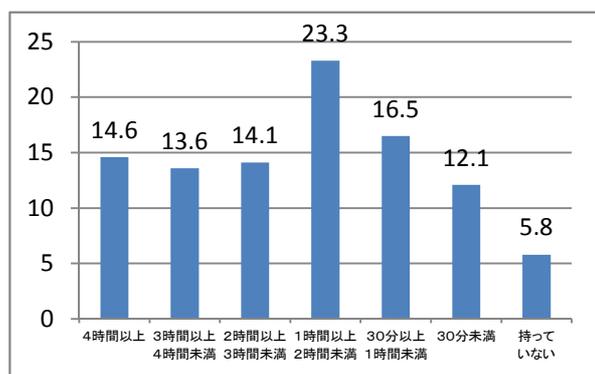
平日は1日どれくらいの時間、勉強をしますか。(塾や家庭教師を含む)



## 4 携帯電話やスマホでの通話やインターネットの使用時間を減らしましょう。

使用時刻や時間を決めましょう。

平日は1日どれくらいの時間、携帯電話やスマホでメールやインターネットをしますか。(ゲームの時間を除く)





平成28年11月